

茨高は生徒一人ひとりに真剣に向き合ってくれる学校

H. A.

茨城県立医療大学 保健医療学部 看護学科 進学
国立 茨城大学教育学部附属中学校 卒業

茨高では、通常日や長期休業中に課外授業が行われています。これらは強制ではなく、自分の判断で受講することができるため、それぞれの目標やペースに合わせて学習を進めることができます。私は高校1年次に多くの課外授業を受講した結果、少し余裕がなくなっていました。しかし、その経験を活かして高校2年次や高校3年次では自分に必要な課外授業を選ぶようにし、より充実した気持ちで勉強に取り組むことができました。また、茨高には医療系の分野に興味のある生徒が所属する「医学コース」があります。私もこのコースに所属しており、医療に関わるさまざまな職業の方やALSを患っている方による講演を聞く機会がありました。こうした講座を通して医療の現場について理解を深めることができ、私自身も医療系の分野に進みたいという思いをさらに強くすることができました。医療系の進路に興味がある方には、ぜひ医学コースに参加してほしいと思います。

私は高校3年間、弓道部に所属しており、茨高での一番の思い出は部活動です。弓道は高校に入るまで一度も経験がなく、最初は楽しみな気持ちと同時に不安もありました。しかし、先輩や同級生が丁寧に教えてくれたおかげで、少しずつ上達していく喜びを感じることができました。大会に向けて仲間と真剣に練習した時間や、くだらないことで笑い合った何気ない時間は、今でも私にとってかけがえのない思い出です。弓道を通して培った集中力や平常心は、受験勉強を乗り越えるうえでも大きな力となりました。茨高で過ごした3年間は、仲間とともに努力することの大切さを教えてくれた時間だったと思います。

入学当初、私は一貫生とは関わりづらいのではないかと勝手に思い込んでいました。しかし、部活動や高校3年生で同じクラスになったことをきっかけに、自然と仲良くなることができました。実際に学校生活を送る中で、一貫生と高入生の間に壁はほとんどなく、仲間として過ごせる環境が整っていると感じました。また、大学受験の際には担任の先生と何度も面談を重ね、自分が将来どのような道に進みたいのかをじっくり考えることができました。小論文の添削や面接指導にも丁寧に何度も付き合ってください、生徒一人ひとりに真剣に向き合ってくれる学校だと感じました。このように、仲間や先生方に支えられながら充実した3年間で過ごせることが、茨高の大きな魅力だと思います。

大学進学後は、特に学びたいと思っている母子保健の知識を深め、将来は産後うつに悩む方の支えになりたいと考えています。勉強はもちろん、サークル活動やアルバイトなどさまざまなことに挑戦し、悔いの残らない充実した学生生活を送りたいと思います。